

平成 30 年度

事 業 報 告
決 算 報 告

苦しむ人びとを、救い続ける。

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。



- 目 次 -

平成 30 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	2
2	赤十字講習の充実	8
3	青少年赤十字の育成	10
4	国際活動の推進	12
5	救護看護師の養成	14
6	血液事業の推進	14
7	赤十字ボランティアの育成	15
8	効果的な広報活動の展開	22
9	活動資金の募集及び表彰制度	24
10	奈良県支部有功会	26

平成 30 年度 一般会計決算報告

1	平成 30 年度 一般会計決算	27
2	平成 30 年度 会費収入	28

参考資料

1	一般会費及び法人会費収納実績表	29
2	火災・水害等による救援物資配布・弔慰金支給 及び付添臨時救護派遣状況	30
3	市町村別講習一覧	31

平成 30 年度 事業報告

1 災害救護体制の強化 －災害からいのちを守る－

平成 30 年は、大阪府北部地震、7 月豪雨、そして北海道胆振東部地震や、台風・梅雨前線による集中豪雨、地震による災害が発生しました。また近い将来発生が危惧されている南海トラフ地震などの大規模災害に備え、災害救護体制の整備・強化に取り組みました。

(1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名 称	班数	備考
地方独立行政法人奈良県総合医療センター	2 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締
地方独立行政法人奈良県西和医療センター	2 班	〃
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日委託契約
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日委託契約締
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日委託契約
合計	8 班	

※1 班の体制：医師 1 名・看護師 3 名・薬剤師 1 名・主事 1 名・調整員 1 名 計 7 名

(2) 救護班訓練

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

主 催	実 施 日	訓 練 名 称	会 場	支 部 参 加 者 (参 加 総 数)
赤十字	大阪府支部	6 月 2 日	第 4 ブロック(近畿) 合同災害救護訓練	大阪城公園内 太陽の広場 他 30 名 (650 名)
行政	奈良県	8 月 5 日	奈良県防災総合訓練	田原本健民運動場 26 名 (1,300 名)



(第 4 ブロック合同災害救護訓練)



(奈良県防災総合訓練)

(3) 日赤災害医療コーディネーターの及びスタッフの登録

災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

医療コーディネーター・スタッフ一覧

	南奈良総合医療センター	奈良県総合医療センター
コーディネーター (医師)	守川 義信 明石 陽介	關 匡彥
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代	(調整中)
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	(調整中)

※医療コーディネートチームは、医師・看護師・薬剤師・主事（事務職員等）で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

(4) 救護班等研修会

救護班等の技術向上を図るため研修会に参加しました。

実施日	研修名称	主催	参加人数
	内 容		
5月13日	救護班基礎研修会	奈良県支部	28名
	赤十字の災害救護活動 避難所アセスメント		
10月28日	こころのケア研修会	奈良県支部	14名
	災害時のストレス反応 被災者へのこころのケア 救護員のこころのケア		
11月30日～ 12月1日	原子力災害対応基礎研修会研修会	本社	2名 (血液センター職員2名)
	日本赤十字社の原子力災害への取組み 災害救護活動における放射線防護の基礎知識		
平成31年 1月26～ 27日	日赤災害医療コーディネート研修会	本社	3名 (奈良県総合医療センター1名 南奈良総合医療センター2名)
	事例から見た日赤医療コーディネート 日赤災害コーディネート体制		
平成31年 2月16日～ 17日	全国救護班研修	本社	4名 (職員1名 市立奈良病院 3名)
	災害医療の考え方 日本DMATと日赤救護班の活動内容 医療救護対応に必要なスキル EMIS実習		



(救護班基礎研修：奈良県支部主催)



(こころのケア研修：支部主催)

(5) 平成 30 年大阪府北部地震災害への救護活動

派遣日	協力医療機関	活動場所	活動内容
6月22日	奈良県総合医療センター	茨木市	避難所巡回診療
※ 救護班編成：医師、看護師長、看護師、主事、調整員 計 5 名 車両：災害救援車 2 台			

(6) 平成 30 年 7 月豪雨災害への救護活動

派遣日	協力医療機関	活動場所	活動内容
7月18日～22日	奈良県立医科大学附属病院	倉敷市真備町	避難所巡回診療 こころのケア活動
※ 救護班編成：医師、看護師長、看護師、薬剤師、理学療法士、主事、調整員 計 7 名、 車両：災害救援車：2 台			



(避難所巡回診療)



(調剤ルール確認)

(7) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

平成 30 年度に新たに整備したもの

品名	型式	数量	品名	型式等	数量
ブルーシート	3.6m×5.4m	300 枚	布団 3 点セット	カバー付 圧縮袋入	100 セット



(ブルーシート)



(布団 3 点セット)

① 救護資機材の整備

	品名	数量	品名	数量	
救護班要員装備品	医療セット	5	救護所資機材	大型フレームテント	2
	携帯医療セット	5		大型エアーテント(ハイブリット式)	1
	救護班要員携行バッグ	30		エアーテント(大1・小1)	2
	医療資機材携行用鞄	33		組立式テント	12
	パルスオキシメータ	9		ワンタッチテント(大2・小6)	8
	電子体温計	20		プライベートテント	1
	自動体外式除細動器(AED)	3		間仕切り用パーテーション(2種)	30
	救護服：上下	188		簡易トイレ	2
	救護服：雨衣	30		簡易トイレ用ワンタッチテント	4
	救護服：防寒衣	30		自家発電機(ガソリンタイプ)	16
	救護服：Tシャツ	120		水銀灯付発電機	1
	防護メガネ	20		蓄電池	1
	防塵マスク	10		投光器	9
	防寒用ブランケット	30		誘導灯	5
	LEDヘッドライト	10		冷暖房機器 (冷暖房器：3、暖房器：1、冷房器：3)	7
	懐中電灯	10		診療用机・椅子	1
	ペンライト(ホルダー付)	30		診察台	4
	寝袋	50		折畳式寝台	80
	万能ハサミ	20		キャンバスベッド	6
	ホイッスル	50		傷病者用毛布	70
	非常食：アルファー米(50食)	16		担架	15
	非常食：餅	40		担架架台	10
	非常食：ビスケット	27		浄水器	1
	非常食：ドライスープ	291		LEDランタン	10
	非常食：白粥	191		拡声器(メガホン)	5
	非常食：鮭粥	143		リヤカー(大・小)	各1
	非常食：惣菜(3種)	168		移動炊飯器	11
	非常食：水(24本)	44	通信機器	業務用無線基地局	2
	非常食：丂(2種)	72		業務用無線移動局	14
機材・原素力他対応資	空間線量率測定用サーベイメータ	1		業務用無線携帯局	21
	防護服セット	6		アマチュア無線局	1
	デジタル個人線量計	7		室外設置用外部アンテナ	3
	NBC除染資機材セット	1		デジタル通信システム (D-STAR レピーター)	2
	ボランティアユニフォーム	40		携帯電話	1
支援要員資材	ボランティア反射チョッキ	50		データ通信端末	1
	ボランティア帽子	50		デジタルカメラ	2
	防寒衣	59		衛星携帯電話	3
	雨衣(白色・黄色)	50			
	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1			
災害救護車両	救急車	1			
	災害救援車	5			
	救護資機材運搬トラック	1			

【 地区分区(市町村) 】

品名		数量	品名	数量
災 害 対 応 資 機 材	災害救援車	51	ワンタッチテント(大)	24
	移動炊飯器	59	自動体外式除細動器(AED)	33
	発電機：ガソリンタイプ 1600W	22	発電機：ガソリンタイプ 900W	3
	LED 投光機：スタンドタイプ	36	発電機：プロパンタイプ 850W	11

② 救援物資の整備

● 備蓄状況（支部・地区分区において配備）※()の数字は平成 30 年度に整備したもの

毛 布	緊急セット	安眠セット	布 団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
2,950 枚	1,242 セット	1,132 セット	381 組(100 枚)	943 枚	492 枚(300 枚)	790 枚

● 救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	8 件	0 件	3 件

● 火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	61 世帯	毛 布	緊急セット	布 団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人 数	131 人	90 枚	27 セツ	50 組	48 枚	40 セツ	8 枚	10 枚

【弔慰金の支給】

人 数	金 額
7 名	140,000 円



(毛布)



(安眠セット)



(緊急セット)

(8) 救急箱薬品の整備

昭和 37 年から県民の方々や観光客等がケガされた際に、交番や駐在所においても応急手当ができるように救急箱の設置及び薬品の更新を随時行っています。

今回は、薬品（10 点セット）177 セット（県内全ての交番・駐在所分）を贈呈しました。



(贈呈式)

(9) 災害時協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは充分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



(株)八百彦商店との物資支援協定)



(一般社団法人奈良県 LP カイ協会
との物資支援協定)



(板倉石油(株)との物資支援協定)

(10) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【平成 30 年度受付実績】

(単位：円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	累計
東日本大震災義援金(4県)	159	1,671,598	令和2年3月31日	1,530,756,381
熊本地震災害義援金	172	1,253,544	令和2年3月31日	143,946,212
7月5日からの大雨災害義援金	62	245,870	令和2年3月31日	14,038,120
大阪府北部地震災害義援金	91	753,355	平成30年9月28日	
米原市竜巻災害義援金	5	46,953	平成30年9月28日	
7月豪雨災害義援金	896	64,619,534	令和元年6月28日	
北海道胆振東部地震災害義援金	168	6,776,404	令和元年9月30日	
合計	1,553	75,367,258		

▼国内義援金の受渡



(添上高等学校)



(下北山村)

2 赤十字講習の充実 ーいざという時に備えてー

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。また、地域包括支援事業として、地域サロン等での「健康生活・介護予防」のための講習にも取り組みました。

平成 30 年度は、県下各地で 360 回開催し、延べ、11,298 の方に受講いただきました。

(1) 防災・減災のための講習会

地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県下各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2 時間以上	38 回	1,491 人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	5 回	194 人
計		43 回	1,685 人



(冊子)

「赤十字防災啓発プログラム」



(災害時要配慮者生活支援講習)

毛布ガウンの方法



(DIG)

奉仕団員を対象に
「防災マップ作り」の演習

(2) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生や A E D の使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方 法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4 時間	19 回	388 人

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救急員養成講習	12 時間	13 回	281 人
短期講習	2 時間以上	138 回	4,319 人
指導員養成講習	30 時間		
資格継続研修	4 時間	1 回	4 人
計		171 回	4,992 人



(救急員養成講習)

② 水上安全法

水の事故防止を中心に、事故発生時必要な応急手当や着衣泳（服を着たまま溺れた場合の対処方法）講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成Ⅰ講習	14時間	1回	11人
短期講習	2時間以上	34回	1,892人
指導員養成講習	30時間		
資格継続研修	4時間	1回	14人
計		36回	1,917人



(救助員養成Ⅰ講習)

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などを学ぶ「支援員養成講習」や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	3回	70人
短期講習	2時間以上	23回	830人
指導員養成講習	30時間		
地域包括支援事業	適宜	31回	675人
資格継続研修	4時間		
介護職員初任者研修・実務者研修	55時間	2回	49人
計		59回	1,624人



(支援員養成講習)

④ 幼児安全法

乳幼児に対しての救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などを習得する「支援員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	3回	46人
短期講習	2時間以上	52回	1,227人
指導員養成講習	30時間		
資格継続研修	4時間	1回	1人
計		56回	1,274人



(支援員養成講習)

3 青少年赤十字の育成 – 思いやりを育む –

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

(1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	13 校	73 校	15 校	10 校	111 校

(2) 青少年赤十字防災教育推進事業

青少年赤十字加盟推進並びに新しい指導者を養成するため、県教育研究所において、小・中学校、高等学校の教諭や養護担当教諭等を対象に、「防災教育プログラム」の効果的な活用や防災講習を実施しました。

実施日	研修内容	実施場所	参加対象者及び人数
8月16日	中堅教諭等資質向上研修講座（防災教育）	県立教育研究所	小・中・高等学校、特別支援学校の教職員（採用4~11年目） 60
8月17日	（HUG）防災セミナー	桜井市役所	桜井市教頭会、事務職員 25



(防災教育教材：冊子・DVD)



(加盟登録案内パンフレット)

(3) 「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」（幼稚園・保育所向け）

子どもたちが「自分のいのちは、自分で守る！」ことができるようになることを目的に、防災教育教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を活用した講習会を開催しました。

実施日	研修内容	実施場所	参加対象者及び人数
11月6日	ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん	高取幼稚園	園児及び保護者 48
12月15日		奈良女子大学付属幼稚園	園児及び保護者 350



(防災教育教材)



(防災教育講習)

(4) 国際交流派遣事業：第4ブロック合同青少年赤十字国際交流：8月16日～22日

第4ブロック合同青少年赤十字国際交流として、マレーシア赤新月社へ青少年赤十字メンバー12名と指導スタッフ4名(ボランティア2名、教員2名)の合計16名を派遣しました。

奈良県支部では、青少年赤十字メンバー2名を派遣し、互いのメンバー同士のふれあいを通じて、国際理解・親善を深めました。



(第4ブロック合同国際交流派遣事業)

(5) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良市立 飛鳥小学校	飛鳥スマイルキッズ「花いっぱい プロジェクト」	477名	<ul style="list-style-type: none">●募金活動●地域の清掃活動●花の寄せ植えプレゼント●学校花いっぱいプロジェクト
奈良市立 大安寺小学校	大安寺あいさつ、笑顔いっぱい 花いっぱい活動	334名	<ul style="list-style-type: none">●募金活動●花壇やプランターの整備●清掃・環境美化活動の推進●あいさつ運動の推進
奈良市立 鼓阪小学校	鼓阪100(パーカクト)線で つなぐ学校と地域	86名	<ul style="list-style-type: none">●花壇やプランターの整備●清掃・環境美化活動の推進●あいさつ運動の推進
奈良市立 東市小学校	東市まるごと笑顔 100% 東市花いっぱい運動	243名	<ul style="list-style-type: none">●学校の花壇を整備し、学校環境を整える●植栽活動を奉仕作業、清掃活動につなげ、自分たちの力で自分たちの住む環境を整える



(飛鳥小学校)



(大安寺小学校)



(鼓阪小学校)



(東市小学校)

(6) 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
5	25~27 青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター指導者養成講習会	東京都	青少年赤十字と学校教育、防災教育プログラム	1
	29 第4プロック青少年赤十字指導者協議会	和歌山県	活動計画、各支部の活動状況	1
6	4 県指導者協議会	支部	指導者講習会・トレーニングセンターの打合	6
	23~24 第4プロック青少年赤十字指導者研修会	和歌山県	体験発表：「画工の中でのJRC活動と指導法」 実技：避難所で役立つ技術と知識	1
	28~29 全国指導者協議会総会・研修会	本社	平成29年度事業報告、平成30年度取組 グループワーク：各県におけるJRC活動の工夫や活性化への共有	1
8	1~3 県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	赤十字・ボランティアについて 救急法・フィールドワーク	28
12	25 青少年赤十字児童・生徒交流会	奈良市	「NHK海外たすけあい街頭募金	5
H31 1	9~10 青少年赤十字研究会	本社	講演「青少年赤十字と学校教育」、「赤十字が提供できるプログラム」 青少年赤十字活動事例発表、分科会	1
2	8 県指導者協議会	支部	平成31年度トレーニングセンター打合	5
3	3 奈良市青少年赤十字指導者協議会主催事業：成美学寮交流会	奈良市	入所者との交流（出し物、ゲーム等）	5

4 国際活動の推進　－世界とつながる－

世界191の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。



(フィリピン保健医療支援事業)



(インドネシア・スラウェシ島地震)

(1) 支部の国際活動への参加

フィリピン保健医療支援事業に資金協力をしました。

(2) 海外救援金【平成30年度実績】

(単位：円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度まで
中東人道危機救援金	5	46,603	令和2年3月31日	117,848
バングラデシュ南部避難民救援金	3	10,000	令和2年3月31日	24,774
インドネシア・ロンボク島地震救援金	2	27,900	平成30年11月30日	
インドネシア・スラウェシ島地震救援金	8	1,032,859	平成30年11月30日	
合計	10	1,060,759		

(3) NHK海外たすけあい

① 受付件数・金額

受付窓口	件数等	金額(円)	付記
日赤奈良県支部	100	180,529	南都銀行、農協の振込を含む
NHK奈良放送局	36	264,947	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・生駒市・香芝市・生駒郡・磯城郡の地区奉仕団より各2名が協力
街頭募金	16地域	456,948	地域奉仕団及び青少年赤十字が実施
ゆうちょ銀行	384	4,156,699	県民から本社への振込
合計		5,059,123	



(街頭募金：桜井市)



(街頭募金：青少年赤十字メンバー)

【街頭募金】

月日	実施団体名	場所	人数	金額
11	3 山添村	山添村ふるさとセンター	1	1,994
	23 高取町	高取町お城まつり会場	1	33,629
	26 天理市	天理総合駅前、天理よろづ相談所病院前	16	33,444
12	1 樞原市	近鉄大和八木駅	29	31,999
	1 桜井市	近鉄/JR 桜井駅、JR 三輪駅、大神神社	17	28,065
	奈良市	道の駅「針テラス」	9	9,302
	2 生駒市	近鉄生駒駅	7	15,165
	2 生駒郡	ザ・ビックエクストラ平群店	7	31,312
	5 宇陀市	近鉄榛原駅	11	21,637
	6 大和高田市	トナリ工大和高田	12	15,322
	7 五條市	A コープ、イオン五條店、オーパークワ、ボトルワールドOK五條店、吉野ストア五條店	15	45,793
	8 北葛城郡	JR 王寺駅、イズミヤストア広陵店	9	30,213
	10 奈良市	近鉄奈良駅	8	16,504
	11 御所市	ライフ御所店	11	57,884
	19 大和郡山市	近鉄郡山駅、アスモ郡山店、市役所周辺	18	47,141
	25 青少年赤十字	近鉄奈良駅周辺	26	37,544
	合計		197	456,948

5 救護看護師の養成 －国内外で活躍できる看護師を－

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。
また、看護学生への奨学金の貸与も行いました。

(平成 30 年度)

養成学校	1年	2年	3年	計
大阪赤十字看護専門学校	2人	1人	1人	4人



(戴帽式)

6 血液事業の推進 －献血にご協力を!!－

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。



(献血の様子)

- (1) 愛の血液助け合い運動（7月1日～8月31日）、全国学生クリスマス献血（12月）、はたちの献血キャンペーン（1月1日～2月28日）、バレンタイン献血（2月1日～28日）等を実施しました。



(学推クリスマスキャンペーン)

- (2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。
- ・献血セミナー
 - ・献血まるわかりゼミ
 - ・献血啓発ポスター募集

- (3) 献血推進の広報活動を行いました。（新聞広告掲出：県有功会）
- ・愛の血液助け合い運動
 - ・はたちの献血キャンペーン

7 赤十字ボランティアの育成 －活動を支える－

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただきしており、また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

特に、地域赤十字奉仕団及び安全法指導赤十字奉仕団については、防災・減災をテーマにした研修会に取り組みました。

(1) 地域赤十字奉仕団（団数及び団員数：39 団、3,607 名）昭和 23 年発足

- ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問（岡山県）と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
- ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、N H K 海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

- ① ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県人会の方と交流を実施しました。（4月 10 日：岡山県瀬戸内市）



(ハンセン施設訪問)

- ② 「見守ってるよ」を合言葉に、奉仕団員の玄関や自転車などに赤十字啓発のシールや看板を設置し、広報活動に努めました。



- ③ 奉仕団員による防災教室を開催しました。



(香芝市赤十字奉仕団：志都美幼稚園での防災教室)

- ④ 奈良県防災総合訓練に参加しました。(8月5日：田原本町)
- ⑤ クリーンアップならキャンペーンに参加しました。(9月2日：県内154ヶ所、90名参加)
- ⑥ NHK海外たすけあい募金に協力しました。

⑦ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
4 9~8/29	地区委員会	県内17地区	平成30年度支部・血液センター事業報告等	406
5 23	指導講師検討会	支部	地域奉仕団研修会について	6
5 30~ 6/1	奉仕団中央委員会	本社	各ブロック奉仕団委員会議の報告、 地域包括ケアシステムの実現に向けて	1
6 11	支部委員会	支部	地域奉仕団研修会について 災害エスノグラフィ研修	16
7 12~13	地域奉仕団一泊研修会	葛城市	地域包括ケアについて、奉仕団事例発表、 グループワーク：若年層への赤十字活動啓発	74
12 8	奉仕団中央委員会常任委員会	本社	平成31年度奉仕団中央委員会日程案、 奉仕団の信条改正に係る検討	1
H31 2 5	支部委員会	支部	平成30年度支部・奉仕団事業中間報告 平成31年度支部・奉仕団事業行事等 血液事業について	20



(奉仕団支部委員会)



(地域奉仕団研修会一泊研修会)



⑧ モデル奉仕団の指定による活動

奉仕団名	活動内容	指定期間
三宅町赤十字奉仕団 (団員：54名)	モデル活動名：災害救護に関する活動 炊き出し訓練、防災頭巾の作成、救急法の受講、 災害時避難所の研修	平成30年度～ 令和2年度
生駒市赤十字奉仕団 (団員：15名)	モデル活動名：災害救護に関する活動 炊き出し訓練、防災訓練への参加、救急法の受講	平成29年度～ 令和元年度
高取町赤十字奉仕団 (団員：30名)	モデル活動名：災害救護に関する活動 炊き出し訓練、防災頭巾の作成、災害時要配慮者生活支援講習・健 康生活支援講習・セラピューティックケアの受講	平成28年度～ 平成30年度



(三宅町赤十字奉仕団)



(生駒市赤十字奉仕団)



(高取町赤十字奉仕団)

(2) 安全法指導赤十字奉仕団（団員：118名）昭和52年発足

（救急法指導員82名、水上安全法指導員24名、幼児安全法指導員22名、健康生活支援講習指導員14名）

- ・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の講習を普及するために組織された奉仕団です。
- ・救急法などの各種講習会開催のほか、団員の知識と技術の向上を図るために、防災・減災に関する研修の実施や、災害時における救護活動を円滑に行うため、救護訓練に参加しました。

① 講習会指導状況

区分	回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習	19回	388人	56人
養成講習	救急法	281人	54人
	水上安全法	11人	8人
	幼児安全法	40人	1人
	健康生活支援講習	70人	0人
短期講習	救急法	4,319人	145人
	水上安全法	1,892人	60人
	幼児安全法	1,227人	14人
	健康生活支援講習	830人	0人
資格継続研修	救急法	4人	1人
	水上安全法	14人	4人
	幼児安全法	1人	1人
	健康生活支援講習	0人	0人
災害時要配慮者生活支援講習	38回	1,491人	5人
計	327回	10,568人	349人

- ② 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月2日：大阪市)
- ③ みんなの防災+ソナ工にAED・救急法講習として、参加しました。(11月4日：奈良市)
- ④ 市民メディカルラリーに参加しました。(11月18日：奈良市)
- ⑤ 奈良マラソンでの救護支援として協力しました。(12月9日：奈良市鴻池陸上競技場)

⑥ 研修会、講習会等

月 日	行事名	場 所	内 容	人 数
4 22	総会、研修会	奈良市	H29 年度事業報告、会計報告、H30 年度事業計画、予算等審議、研修会「奈良県の救急現場の現状」講演 DVD 「奉仕団 40 年のあゆみ」視聴	37
5 12 19~20 27、 6/3.10	救急法基礎講習会	奈良市	受講者 19 人	5
	水上安全法救助員資格継続研修会	奈良市	受講者 14 人	4
	救急法救急員養成講習会	奈良市	受講者 16 人	5
	水上安全法救助員 I 養成講習会	大和郡山市	受講者 11	8
6 24.25	幼児安全法支援員養成講習会	支部	受講者 12 人	1
7 7	役員会	支部	8 月の講習会、研修会について	13
8 11 25	災害時要配慮者生活支援講習会	支部	受講者 9 人	1
	救急法基礎講習会	奈良市	受講者 26 人	6
9 1.2 8	救急法救急員養成講習会	奈良市	受講者 40 人	12
	役員会	支部	研修会、12 月の講習について	17
10 19~21	健康生活支援講習支援員養成講習	支部	受講者 9 人	1
12 1 15 22.23	奉仕団研修会	奈良市	講演「防災ボランティアの活動紹介」実技「骨折の手当」	34
	救急法基礎講習会	橿原市	受講者 24 人	10
	救急法救急員養成講習会	橿原市	受講者 30 人	14
H31 1 12 19	災害時要配慮者生活支援講習会	支部	受講者 26 人	1
	救急法基礎講習会	支部	受講者 14 人	1
2 2 6 23	役員会	支部	3 月の講習会・総会の付議事項等	13
	奉仕団支部委員会	支部	平成 30 年度事業中間報告 平成 31 度事業計画 等	1
	幼児安全法支援員資格継続研修	支部	受講者 1 人	1
3 17 23.24 24	救急法基礎講習会	大和郡山市	受講者 35 人	9
	救急法救急員養成講習会	大和郡山市	受講者 37 人	9
	救急法救急員資格継続研修	支部	受講者 4 人	1



(総会)



(研修会)



(講習指導)

(3) 無線・救護赤十字奉仕団 (団員: 24名) 昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。

今年度は、他府県との通信訓練、第4ブロック災害救護訓練、県合同防災総合訓練に参加しました。

- ① 大阪府北部地震災害の災害ボランティア運営支援活動に参加しました。(6月18日:大阪府支部、7月9.10.13.16日:高槻市)
- ② 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月2日:大阪市)
- ③ 奈良県防災総合訓練に参加しました。(8月5日:田原本町)
- ④ 奈良マラソンでの無線救護として協力しました。(12月9日:奈良市鴻池陸上競技場)
- ⑤ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
4	8 総会	支部	役員改選、平成29活動報告・会計報告、平成30活動計画案・野外活動訓練・研修会などの開催予定	15
	13 日赤第4ブロック合同災害救護訓練打	大阪府支部	ボランティア部会	1
	14 第4ブロック連絡協議会役員会	大阪府支部	各府県活動報告、計画等	2
5 13	幹事会、研修会	支部	無線機の取り扱い	6
6 2	日赤第4ブロック合同災害救護訓練	大阪府	ボランティアセンター運営等	7
	10 通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star・HF(短波)	8
9 17	野外活動訓練	宇陀市	通信訓練等	11
	25 日赤第4ブロック合同災害救護訓練振	大阪府	訓練振り返り	1
10 20	通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star・HF(短波)	5
11 18	メディカルラリー	奈良市		3
12 15・16	反省会、研修会(泊)	平群かんぽの宿	通信訓練を含む	9
1 12	通信訓練、伝搬調査	支部	画像伝送・HF(短波)	7
	29 第1回奈良市災害ボランティアセンター運営プラットホーム会議	奈良市	奈良市社会福祉協議会災害対応マニュアルの開設	1
2 5	奉仕団支部委員会	支部	平成30年度事業中間報告 平成31年度事業計画等	1
	28 日赤第4ブロック合同災害救護訓練打	滋賀県	ボランティア部会	1
3 23	幹事会	支部	2019年度事業運営計画	8
	24 通信訓練、機器メンテナンス	支部	D-star・HF(短波)	5
無線通信訓練の実施	鹿児島県(5/27)、福島県(7/22)、栃木県・秋田県・富山県(9/2)、神奈川県(9/8)、手県(9/9)、静岡県(9/30)、兵庫県(10/13)、宮崎県(10/14)、千葉県(11/13)、川県(11/25)、栃木県(12/1)、愛知県(12/16)、神奈川県(1/12)、大阪府(1/20)、山梨県(3/10)			



(通信訓練)



(イベントでの無線機体験)

(4) 看護赤十字奉仕団 (団員: 52名) 昭和48年発足

看護師の資格を有したボランティア組織です。主に地域社会に貢献しようと奈良マラソンや大立山まつりをはじめ、公共性の高い行事等の臨時救護や付添救護活動を通じて赤十字思想の普及に努めました。また、技術の向上を図るための研修会を行いました。

① 救護活動回数

区分	回数	人数
臨時救護	45回	94人
団体付添救護	11回	13人
計	56回	107人

② 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
H31 3 5	研修会	支部	救護活動に役立つ知識と技術の確認、災害エスノグラフィ	25



(奈良マラソンでの臨時救護)



(付添救護)



(研修会)

(5) 青年赤十字奉仕団 (団員: 21名)

(奈良県青年赤十字奉仕団: 7名 昭和60年発足、近畿大学農学部赤十字奉仕団: 14名 平成4年発足、

奈良大学学生赤十字奉仕団 0名 平成24年度発足)

勤労青年や大学生によるボランティア組織です。主に赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

- ① 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月2日: 大阪市)
- ② 奈良県防災総合訓練に参加しました。(8月5日: 田原本町)
- ③ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
5 27	青年奉仕団第4ブロック代表者会議	大阪赤十字会館	第4ブロック協議会活動報告、計画等協議	1
6 23~24	HIV/AIDS ピアリーダー養成研修会	京都市	HIV/AIDS の基礎知識、ヒューマンセクシャリティーの基礎知識など	2
7 21	青年奉仕団基礎研修会	近畿大学農学部	赤十字について、救急法講習	21
8 1~3	青少年赤十字県トレーニングセンター	奈良市	トレーニングスタッフ	3
	25~27 ボランティアリーダー研修会	東京都	赤十字7原則とボランティア活動、ボランティア・リーダーとは など	1
9 9	第4ブロック協議会第1回役員会	大阪赤十字会館	第4ブロックリーダー養成研修会について	2

10	13	救急法基礎講習	近畿大学農学部		10
	28	NARARAINBOW FESTA!	斑鳩町	救急法講習の実演	3
11	2・3	第52回近畿大学農学部祭・第30回飛鳥祭	近畿大学農学部	防災グッズの紹介、救急法講習の実演	
	24~25	第4ブロック青年奉仕団リーグ-養成研修会	兵庫県	赤十字について、リーダーについて、ワークショップ「奉仕団活動計画書の作成」	3
2	24	第4ブロック協議会第2回役員会	兵庫県支部	代表者会議委員の選出、代表者会議の協議事項について	2
3	1	近畿大学農学部奉仕団総会	近畿大学農学部	活動報告、計画等協議	17
3	2	第4ブロック青年赤十字奉仕団合同防災遠足	兵庫県	防災体験学習ガイダンス、地震体験、簡易救出器具取扱体験、災害救護支援センター見学	2
4	14	第4ブロック協議会第3回役員会	大阪赤十字会館	平成30年度事業報告、2019年度事業計画、役員改選等	2
	学内献血	4月・11月・12月	近畿大学農学部	献血の呼びかけ	



(ボランティア・リーダー研修会(青年奉仕団参加))



(HIV/AIDS ピアリーダー養成研修会)

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団 (団員: 21名) 昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字を側面から支えています。トレーニング・センターの応援、ブロック研修会への参加などを行いました。

① 県トレーニングセンターに協力しました。(8月1~3日: 奈良市)

② 研修会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
5 30	賛助奉仕団総会	支部	H29年度事業・決算報告、H30年度事業計画、役員改選	9
7 5、6	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	本社	H29年度事業・決算報告、役員改選、H30年度事業計画・予算案 全国協議会バッジと旗の発注について	1
8 1~3	県トレーニングセンター	奈良市	トレセンスタッフ	5
10 25.26	第4ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	兵庫県	減災について、奉仕団の課題	2



(賛助奉仕団総会)



(県トレーニングセンター)

(7) 防災ボランティア（個人）（登録人数：16名） 平成9年度発足

災害時の対応や、避難生活対応のための知識や技術を習得するため、訓練や講習会などへ参加しました。

- ① 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。（6月2日：大阪市）
- ② 奈良県合同防災訓練に参加しました。（8月5日：田原本町）
- ③ 「赤十字NEWS」発送業務に協力しました。（5月・7月・9月・11月・12月・1月・3月）



（訓練での担架搬送）



（「赤十字NEWS」発送作業）



8 効果的な広報活動の展開 – 活動へのご理解とご参加を –

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

5月の「赤十字運動月間」では、地区分区を通じて、「日赤なら」、「赤十字NEWS」などの配布や、近鉄奈良駅前行基広場での啓発用横断幕を設置などの広報活動を行いました。

また、第4ブロック（近畿）各府県支部合同事業として、鉄道広告による広域的な広報活動も併せて実施しました。



（「日赤なら」広報誌）



（「日赤なら」中間報告）



（本社作成年間ポスター）

(1) 支部の広報活動

- ① 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置しました。



- ② テレビ放送（運動月間：5月及び随時放送）での広報活動（奈良テレビ、コミュニティビジョン吉野ケーブルテレビ、下市テレビ）を行いました。（運動月間：5月及び年間を通じて継続的に放送依頼）
- ③ 広報誌「日赤なら」(5月に 26万部)及び「支部の活動報告」(中間報告：10月に 3万部)を作成した。
- ④ 赤十字 NEWS を送付しました。
- ⑤ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑥ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑦ 報道機関へは、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。（随時）
- ⑧ 防災・減災イベントに参加し、赤十字活動の広報に努めました。

開催日	イベント名	イベント内容
	開催場所	
11月4日	みんなの防災 + ソナエ	'救急救命体験ブース'での心肺蘇生法とAED体験、身近な物を使っての応急手当法や毛布ガウンの作り方などの講習を実施。
	イオンモール奈良登美ヶ丘	
11月18日	市民メディカルラリー	トリアージ・避難所アセスメント・こころのケア・ファーストエイド・深部静脈血栓症の部門で総合得点を競い合う競技にスタッフとして参加。防災展ブースでの救援物資の展示やパネル展示などの広報活動も実施
	イオンモール高の原	



(みんなの防災 + ソナエ)



(市民メディカルラリー)

(2) 地区间区への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」26万部、「日赤なら」中間報告3万部を作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区分区広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区间区（市町村）主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報PRを行いました。

(3) 第4ブロック（近畿）合同広報活動

- ① 近畿エリアのJR西日本の車両にポスターを掲示しました。
- ② 啓発資材（ポケットティッシュ）4万個を作成しました。

9 活動資金の募集及び表彰制度 －活動資金にご協力を!!－

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願いや、個人・法人などへのダイレクトメールでの募集を行うとともに、企業等とのパートナーシップ(寄付金付自販機設置など)による寄付のお願いや、遺贈による寄付の周知、自治会未加入の地域やマンションなどへ「タウンプラス」による活動資金の協力依頼などを行いました。

(1) CSR（社会貢献）実績

① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住 所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
杏林会鍼灸整骨院	大和高田市
中造園	葛城市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
(株)RISING SUN	橿原市
シンシアペットクリニック	三郷町



(寄付金付自動販売機)

② チャリティーコンサート収益金の寄付

開催日	企業名	内 容
6月9日	奈良中央信用金庫	サークル(男女4人組のコーラスグループ)による「ちゅうしんチャリティーコンサート」が開催。 ご来場者や信用金庫役職員によるチャリティ寄付金の協力。



③ 活動資金募金箱設置：35ヶ所

(2) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項目	人 数	贈与対象内容
1. 支部長表彰状・感謝状	3	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
2. 銀色有功章	9	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
3. 金色有功章	9	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
4. 本社感謝状(6条)	5	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章：個人 左：男性 右：女性)



(金色有功章略章)



金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人)

② 国の表彰制度

項目	人 数	贈与対象内容
1. 厚生労働大臣感謝状	2	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
2. 紺綬褒章	5	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等

10 奈良県支部有功会(平成30年度末会員数：450人、昭和41年11月結成)

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、7地域の有功会（奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市）においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

- (1) 救護看護師養成事業として、大阪赤十字看護専門学生へ一部費用を助成しました。
- (2) 全国赤十字大会に参会しました。(5月16日)
- (3) 国内義援金及び海外救援金（大阪府北部地震災害義援金、米原市竜巻災害義援金、7月豪雨災害義援金、北海道胆振東部地震災害義援金、インドネシア・ロンボク島地震救援金、インドネシア・スマラウェシ島地震救援金）として60,000円（各10,000円）を送金しました。
- (4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい月間、老人の日・高齢者保健福祉月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

(5) 総会等

月 日	行 事 名	場 所	内 容
4 17	有功会総会	奈良ホテル	平成29年度事業報告・会計収支決算・平成30年度事業計画 講演会等
4 26	生駒市有功会総会	生駒市	平成29年度事業報告・平成30年度事業計画 熊本地震活動報告、ビデオ研修等
6 6	王寺町有功会総会	王寺町	平成29年度事業報告・平成30年度事業計画、献血啓発活動 計画、ビデオ研修等
	都祁有功会総会	奈良市都祁	有功章伝達・平成29年度事業報告・ 平成30年度事業計画、熊本地震活動報告、ビデオ研修等
10 4~5	紹綴・有功会会長協議会	秋田市	平成29年度事業報告・平成30年度事業中間報告 講演会等
11 5	有功会役員等交流会	奈良市	赤十字活動の現状と重点事業の説明、懇親会
11 20	大和郡山市有功会総会	大和郡山市	平成29年度事業報告・平成30年度事業計画、熊本地震活動報告等
12 17	有功会連絡協議会	奈良市	平成29年度会計収支決算報告 平成30年度地区有功会活動報告 等
H31 3 13	有功会理事会	奈良市	役員の選任、平成30年度有功章会員加入等状況、会計収支 状況、平成31年度事業計画 等



(有功会総会)



(有功会連絡協議会)

平成 30 年度一般会計決算報告

1 平成 30 年度 一般会計決算

					単位：円
区分		歳30年度 予算現額	歳30年度 決算額	増減	付記
1	社資収入	220,400,000	219,097,080	△ 1,302,920	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金
2	委託金収入	0	83,010	83,010	大阪府北部地震災害補償
3	補助金及び 交付金収入	4,610,000	4,362,500	△ 247,500	本社からの交付金
4	繰入金収入	1,500,000	1,498,010	△ 1,990	災害等資金積立金の繰入、国際救護活動資金
5	雑収入	4,790,000	5,891,584	1,101,584	講師派遣収入、講習用教材費収入等
6	前年度繰越金	500,000	165,493	△ 334,507	前年度繰越金
収入合計		231,800,000	231,097,677	△ 702,323	
					単位：円
区分		歳30年度 予算現額	歳30年度 決算額	増減	付記
1	災害救護事業費	25,220,000	18,704,852	△ 6,515,148	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等
2	社会活動費	43,280,000	35,056,584	△ 8,223,416	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費
3	国際活動費	1,500,000	1,404,823	△ 95,177	フィリピン保健医療支援事業
4	指定事業 地方振興費	2,400,000	2,398,010	△ 1,990	災害救護資機材整備費
5	地区分区 交付金支出	16,390,000	10,362,314	△ 6,027,686	地区分区(市町村)における赤十字活動費
6	社業振興費	30,600,000	29,218,773	△ 1,381,227	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費、全国赤十字大会参加費
7	積立金支出	50,400,000	50,346,924	△ 53,076	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金
8	総務管理費	25,690,000	24,707,707	△ 982,293	支部の事業管理運営費
9	資産取得及び 資産管理費	1,342,000	986,127	△ 355,873	施設管理費
10	本社送納金支出	32,450,000	32,204,860	△ 245,140	本社への送納金
11	予備費	2,528,000	0	△ 2,528,000	その他
支出合計		231,800,000	205,390,974	△ 26,409,026	
次年度繰越金		25,706,703	円		

2 平成 30 年度 会費収入

単位 : 千円

区分	H26	H27	H28	H29	H30
一般会費	122,972	135,417	106,999	116,513	137,794
うち地区・分区	88,498	87,362	88,498	82,881	79,721
うち有功会勧奨等	37,571	19,637	37,571	33,604	57,675
うち住民税控除対象の海外救援金*	0	9,348	0	28	398
法人会費	9,454	9,688	8,504	11,033	81,303
計	132,426	145,105	115,503	127,546	219,097

*住民税控除対象の海外救援金

H25 年度 : フィリピン台風救援金、H27 年度 : ネパール地震救援金

H29 年度 : 南アジア水害救援金

H30 年度 : インドネシア・ロンボク島地震救援金、インドネシア・スマラウェシ島地震救援金
モザンビークサイクロン救援金

❖日赤奈良県支部評議員会の運営

(i)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議 案
平成 30 年 6 月 12 日(火)	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 平成 29 年度支部事業報告及び収支決算報告 (2) 平成 29 年度血液事業報告
平成 31 年 2 月 8 日(金)	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 代議員の任期満了に伴う選任について (2) 平成 30 年度支部一般会計補正予算 (3) 平成 31 年度支部事業計画及び収支予算 (4) 平成 31 年度血液事業計画

(ii)会計監査の実施 (平成 16 年度決算から税理士 (委託) による外部監査実施)

平成 29 年度支部一般会計決算の監査を税理士 (外部監査員) と支部監査委員 2 名から受けました。

(事前監査 : 平成 30 年 5 月 21 日(月)及び本監査 6 月 4 日(月)実施)



(支部評議員会 : 6 月)



(支部評議員会 : 2 月)

参考資料

1 平成 30 年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分	平成30年度 実績額(円)		平成29年度 実績額(円)		前年度対比
	前年比		前年比		
一般社資	奈良市	15,503,290	93.3%	16,619,365	97.3% △ 1,116,075
	大和高田市	3,086,650	93.4%	3,305,950	89.9% △ 219,300
	大和郡山市	6,095,140	97.5%	6,252,000	98.6% △ 156,860
	天理市	2,834,950	95.7%	2,960,850	98.6% △ 125,900
	橿原市	6,272,947	98.6%	6,363,242	96.1% △ 90,295
	桜井市	2,126,742	93.5%	2,274,433	95.6% △ 147,691
	五條市	2,650,277	95.8%	2,767,347	100.0% △ 117,070
	御所市	2,054,615	99.2%	2,070,723	99.4% △ 16,108
	生駒市	6,662,183	94.6%	7,041,762	99.2% △ 379,579
	香芝市	2,845,000	83.3%	3,414,000	60.0% △ 569,000
	葛城市	2,859,380	99.0%	2,887,922	98.3% △ 28,542
	宇陀市	2,437,601	98.5%	2,474,994	95.3% △ 37,393
	市地区計	55,428,775	94.9%	58,432,588	93.8% △ 3,003,813
	山辺郡	523,500	99.1%	528,500	99.2% △ 5,000
一般社資	生駒郡	4,930,177	98.6%	4,998,858	95.2% △ 68,681
	磯城郡	4,316,811	101.0%	4,272,267	99.1% 44,544
	宇陀郡	575,275	100.1%	574,705	97.7% 570
	高市郡	1,818,283	99.8%	1,822,089	97.3% △ 3,806
	北葛城郡	6,941,031	100.3%	6,916,860	98.2% 24,171
	吉野郡	4,673,273	97.3%	4,802,864	97.6% △ 129,591
	吉野西	514,000	96.6%	532,244	93.4% △ 18,244
	郡地区計	24,292,350	99.4%	24,448,387	97.4% △ 156,037
	地区分区扱計	79,721,125	96.2%	82,880,975	94.9% △ 3,159,850
	支部扱計	57,675,190	171.6%	33,604,306	171.1% 24,070,884
一般社資合計	※海外救援金計	398,010		28,000	
	一般社資合計	137,794,325	118.3%	116,513,281	108.9% 21,281,044
	法人社資合計	81,302,755	736.9%	11,033,101	129.7% 70,269,654
	社資合計	219,097,080	171.8%	127,546,382	110.4% 91,550,698

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

平成30年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名	救援物資									弔慰金 (件数)	付添臨時救護(看護師)	
	世帯	人数	毛布	布団	川着袋	緊急セット	安眠セット	アルート	類似件		回数	人数
奈良市	8	23	19	18	23	7		1	7	1	3	9
大和高田市												
大和郡山市												
天理市	1	4	4								9	10
橿原市	1	2	2	1	1	1				1	3	9
桜井市	3	5	5	4	4	3				1		
五條市	4	8	8	6	6	4						
御所市	2	3	4	3	2	2						
生駒市												
香芝市	3	8	13	8	8	3						
葛城市	1	2		2	2	1		1	2			
宇陀市												
市地区計	23	55	55	42	46	21	0	2	9	3	15	28
山辺郡山添村	1	1	1	1	1	1		1	1			
生駒郡	平群町									1		
	三郷町											
	坂城町											
	安堵町											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
磯城郡	川西町											
	三宅町											
	田原本町									2		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
宇陀郡	曾爾村											
	御杖村											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町											
	朝日香村										2	2
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
北葛城郡	上牧町	1	2					1			1	1
	王寺町											
	広瀬町									1	3	4
	河合町										1	1
	計	1	2	0	0	0	0	1	0	1	5	6
吉野郡	吉野町	2	3	6	3		1				1	1
	大淀町	5	10	10							2	2
	下市町										1	1
	黒滝村											
	天川村	23	45	1	1	1	40	4				
	下北山村											
	上北山村											
	川上村	2	4	4								
	東吉野村											
計	32	62	21	4	1	2	40	4	0	0	4	4
吉野西	野迫川村											
	十津川村	4	11	13	3		3					
	計	4	11	13	3	0	3	0	0	0		
その他の											8	16
県											22	51
合計	61	131	90	50	48	27	40	8	10	7	56	107

平成30年度 市町村別講習一覧

	救急法						水上安全法						健康生活支援講習						幼児安全法				
	基礎		養成		短期		養成		短期		養成		地域包括事業		短期		災害時高齢者支援		養成		短期		
	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	
奈良市	6	105	4	46	55	2,232			10	487	1	34	13	179	8	170	19	1,005	1	15	13	231	
大和高田市					1	60							1	30							2	130	
大和郡山市					1	15			1	57								1	30		5	129	
天理市	2	38			15	423			5	154						1	60	4	79		7	162	
橿原市					6	141									2	38	1	30		2	37		
桜井市					1	13														1	18		
五條市					2	52			1	42							3	56		1	72		
御所市									1	28										1	8		
生駒市					5	140			7	553			2	60	1	13	4	128		4	91		
香芝市																				1	6		
葛城市						1	8																
宇陀市					2	26			2	50						2	42				1	28	
市地区計	8	143	4	46	89	3,110	0	0	27	1,371	1	34	16	269	14	323	32	1,328	1	15	38	912	
山邊郡山添村															1	18	1	7					
平群町					4	117									1	17					3	11	
三郷町					5	111			2	232					1	30					2	41	
斑鳩町					1	24													2	60		1	6
安堵町					2	46																	
計	0	0	0	0	12	298	0	0	2	232	0	0	2	47	0	0	2	60	0	0	6	58	
磯城郡	川西町									1	50											1	16
三宅町					1	23			2	131								1	18				
田原本町					3	74															2	50	
計	0	0	0	0	4	97	0	0	3	181	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	3	66	
宇陀郡	曾爾村																						
御杖村																							
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高取町										1	27											1	6
明日香村					1	11								5	131	2	76						
計	0	0	0	0	1	11	0	0	0	0	1	27	5	131	2	76	0	0	0	0	1	6	
北葛城郡	上牧町				2	38																	
王寺町																		1	50				
広陵町	2	21	2	21	1	22								3	90								
河合町					4	139																	
計	2	21	2	21	7	199	0	0	0	0	0	0	3	90	0	0	1	50	0	0	0		
吉野郡	吉野町																				2	17	
大淀町								1	57				1	18	1	15							
下市町																							
黒滝村												1	15										
天川村																							
下北山村					2	21																	
上北山村																							
川上村																							
東吉野村																							
計	0	0	0	0	2	21	0	0	1	57	0	0	2	33	1	15	0	0	0	0	2	17	
吉野	野迫川村					1	17							0									
西	十津川村													1	25								
計	0	0	0	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	0	0		
郡地区計	2	21	2	21	27	643	0	0	6	470	1	27	13	319	5	123	4	128	0	0	12	147	
県主催	3	100	2	79	13	387															2	168	
その他	1	6	1	11	4	113			1	51					4	384							
支部	5	118	4	124	3	66	1	11			1	9	2	87			2	35	2	31			
合計	19	388	13	281	136	4,319	1	11	34	1,892	3	70	31	675	23	830	38	1,491	3	46	52	1,227	